

令和5年度

教育委員会事務点検・評価結果報告書
(令和4年度実績)

令和5年10月

桜川市教育委員会

目 次

- 1 趣 旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 点検及び評価の対象・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 3 点検及び評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 4 点検及び評価の活用・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 5 令和 5 年度施策別点検及び評価対象事務事業一覧表・・・・・・・・ P 4
- 6 令和 5 年度教育委員会事務点検評価表一覧表・・・・・・・・ P 5
(令和 4 年度実績：点検評価委員評価)
- 7 令和 4 年度教育委員会事務点検及び評価に係る主要事務事業の
指摘事項経過報告について・・・・・・・・ P 7

1 趣 旨

教育基本法の改正や中央教育審議会の答申を踏まえ、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実等を図るため「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成19年6月に公布され、平成20年4月1日から施行されました。

この改正に伴い、教育委員会は、毎年、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」を行いその結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことから、桜川市教育委員会は、市民の皆様方への説明責任を果たし、開かれた教育行政を推進するとともに、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、教育委員会の権限に属する施策や主要事務事業の取組状況について、「点検及び評価」を実施し、その結果を報告（公表）するものです。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の方針である「桜川市第2次総合計画」に定める教育に関する基本政策と施策に係る令和4年度に実施した主要な事務事業5事業を対象として点検及び評価を行いました。その内訳は次のとおりです。

課 名 等	主要事務事業の数
学校教育課	1 事業
教育指導課	1 事業
生涯学習課	1 事業
スポーツ振興課	1 事業
文化財課	1 事業
合 計	5 事業

3 点検及び評価の方法

(1)「桜川市行政評価システム」を活用し、『桜川市第2次総合計画』に定める教育に関する基本政策と施策、主要事務事業について目的の妥当性、有効性、効率性及び公平性の4つの視点から点検及び評価を実施いたしました。

●事務事業評価の視点

事務事業評価は、単にコスト低下を図ったりスクラップ（廃止）する事業を選ぶためのものではありません。事業結果を振り返ることにより、成果を上げる方策やそのためのやり方の改善策を検討し、まちづくりの問題解決のために、より効果的な事業へと向上させるものです。

事務事業評価は、次の4つの視点・7項目についての評価と、改革・改善策の検討を行いました。

視点1：目的の妥当性評価

- ① 政策体系との整合性
 - ・この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。
 - ・意図していることが上位施策に結びついているか。
- ② 公共関与の妥当性
 - ・市が行う役割や守備範囲の事業であるか。
 - ・税金を投入して達成する目的の事業であるか。

視点2：有効性評価

- ③ 成果の向上余地
 - ・事業の成果を向上させる余地はあるか。
 - ・向上できないときは何が原因であるか。
- ④ 廃止・休止の成果への影響
 - ・事務事業を廃止、休止したときの影響はあるか。
- ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性
 - ・類似の目的や形態を持つ事務事業は他にないか。
 - ・類似事業との統廃合や連携の余地はあるか。

視点3：効率性評価

- ⑥ 事業費・人件費の削減余地
 - ・成果を下げずに事業費を削減する方法はあるか。
 - ・成果を下げずに業務に係る所要時間を削減できるか。

視点4：公平性評価

- ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地
 - ・受益者の費用負担や受益機会に適正化の余地はあるか。

(2) 点検評価に当たっては、令和4年度の主な成果と課題を分析し、今後の対応について方向を示しました。

- (3) 桜川市教育委員会事務点検評価委員会設置要項に基づき、教育委員会が「桜川市教育委員会事務点検評価委員」3名を委嘱し、様々なご意見や助言をいただきました。

4. 点検及び評価の活用

教育委員会事務の点検及び評価の結果を踏まえ、次年度以降の事務事業の運営に反映させます。

5 令和5年度 施策別点検及び評価対象事務事業一覧表

政策：生きがいを育む学びのまちづくり

【学校教育課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
学校教育の充実	新入学児童ランドセル配付事業	020102000186

【教育指導課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
学校教育の充実	教育補助員配置事業	020102000193

【生涯学習課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
生涯学習・芸術文化活動の推進	高校生会事業	020303001063

【スポーツ振興課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
生涯スポーツ活動の振興	スポーツ少年団育成助成事業	020403000099

【文化財課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
文化財の保存活用	指定文化財等維持管理・調査事業	020501000903

6 令和5年度教育委員会事務点検評価一覧表
(令和4年度実績：点検評価委員評価)

番号	事務事業名	評価区分	今後の事業の方向性(複数選択可)										点検評価委員の意見			
			終了	廃止	休止	継続	現状維持	改革改善	目的再設定	有効性改善	統廃合	効率性改善		公平性改善	連携	
1	新入学児童ランドセル配付事業 【学校教育課】	内部評価				○	○									<p>長年続くこの事業は、入学準備時の経済的負担の軽減や格差解消面から保護者の期待は大きい。また、多様性への対応で昨年度から新たに多色となり、概ね好評であったことも踏まえ、継続すべき事業と考える。</p> <p>そこで、新入児童の減少や多色化による価格上昇の懸念を考慮し、財政部局との調整等を進められたい。また、昨年度、指摘を受けた事柄への対応にも配慮されたい。</p>
		評価委員				◎	◎									
2	教育補助員配置事業 【教育指導課】	内部評価				○	○									<p>特別な教育的配慮や支援を必要とする児童生徒は増加傾向にある。また、障害もLD(※1)やADHD(※2)、自閉症スペクトラム障害等多様化している実情から、引き続き継続していく必要がある。</p> <p>そこで、さらに効果を上げるために次のような事に取り組まれたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も支援力向上に向けた研修を積極的に取り入れ、だれ一人取り残さない教育に対応する。 ・配置要綱の改正主旨についての指導や支援に当たる。 <p>(※1) LD: 学習障害 (※2) ADHD: 注意欠陥多動性障害</p>
		評価委員				◎	◎		◎					◎		
3	高校生会事業 【生涯学習課】	内部評価				○	○		○							<p>地域の青少年健全育成や次世代リーダー養成のために欠かせない本事業は、継続していく必要があると考える。</p> <p>コロナウイルスの5類移行に伴い、活動機会の増加が予測されるのを契機に、次のような試みに取り組まれたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の要望への即対応 ・社教主事を講師とした研修会の実施 ・研修内容の実践機会や場の提供 ・他団体へ活動機会の積極的な働きかけ ・PR活動の工夫や改善
		評価委員				◎	◎		◎					◎		

番号	事務事業名	評価区分	今後の事業の方向性(複数選択可)										点検評価委員の意見			
			終了	廃止	休止	継続	現状維持	改革改善	目的再設定	有効性改善	統廃合	効率性改善		公平性改善	連携	
4	スポーツ少年団育成 助成事業 【スポーツ振興課】	内部評価				○	○									<p>少子化や趣味の多様化が進み、団員数や団数が減少している今だからこそ、スポーツ実践の楽しさや喜び体験、青少年の健全育成に向け、本事業は継続していく必要があると考える。</p> <p>そこで、補助金交付やPR活動は勿論のこと、他組織と連携したリーダー研修会(仮称)や合同お楽しみ会等の企画・運営を通して魅力ある活動につなげ、各団の活性化に取り組まれない。</p>
		評価委員				◎	◎	◎						◎		
5	指定文化財等維持 管理・調査事業 【文化財課】	内部評価				○	○	○							<p>現在、本市には、数多く(水戸市に次ぐ県内2位)の文化財がある。この多くの優れた文化財を保護し、歴史的・教育的資料として活用するとともに後世に伝えるために必要な本事業は、継続すべきと考える。</p> <p>そこで、経年劣化等で修理が必要な文化財に対し、現況調査を実施して優先順位を見極め、計画的な維持管理に努められたい。また、個人所有の文化財については、財政的な課題を考慮し、中長期的な展望で対応されたい。</p>	
		評価委員				◎	◎	◎								

7 令和4年度教育委員会事務点検及び評価に係る主要事務事業の 指摘事項経過報告について

政策：生きがいを育む学びのまちづくり

○対象事業一覧

【学校教育課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
学校教育の充実	1 小学校施設維持管理事業	020103000141
	中学校施設維持管理事業	020103000144
	義務教育学校施設維持管理事業	020103000143

【教育指導課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
学校教育の充実	2 教育補助員配置事業	020102000193

【生涯学習課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
生涯学習・芸術文化活動の推進	3 雨引の里と彫刻展補助事業	020202000625

【スポーツ振興課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
生涯スポーツ活動の振興	4 スポーツ推進委員運営事業	020403000094

【文化財課】

施策名	事務事業名	事務事業No.
文化財の保存活用	5 出土遺物保存処理委託事業	020501000895

○令和4年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (令和5年3月末の経過報告)
1	・小学校施設維持管理事業 ・中学校施設維持管理事業 ・義務教育学校施設維持管理事業	学校教育課	市内学校施設の維持管理は、児童生徒の安全な教育活動を確保するために欠かせない事業であり、継続すべきと考える。 現状でも対応はしているが、老朽化による雨漏りやコンクリートタイルの破損などの修繕が年々増加しているため、危険箇所を把握して引き続き速やかに対応されたい。また、将来を見据えての優先順位をつけることにより、計画的な維持管理にあたられたい。	市内学校施設の維持管理については、児童・生徒に危険のあるものを優先して対応している。 R4年度については、点検によって指摘のあった、消防設備について、補正予算を組み、早急に改修工事を行った。また、校舎や体育館の老朽化による雨漏りについても、対応を行った。 今後についても、危険箇所に対しては早急な対応を行う。
2	教育補助員配置事業	教育指導課	特別な教育的配慮・支援を必要とする児童生徒は増加傾向にある。また、LD(※1)やADHD(※2)、自閉症スペクトラム障害等児童生徒の障害や実態が多様化していることから、本事業は継続をしていく必要がある。 そこで、教育補助員には適切な指導力が求められてくる。ついては、教育の充実やだれ一人取り残さない教育のため、教育補助員の指導力向上を目指して、研修の機会と場が必要となる。対応に当たられたい。 (※1)LD:学習障害 (※2)ADHD:注意欠陥多動性障害	支援の向上に向けた研修を実施した。協和特別支援学校に講師を依頼し、LD、ADHDの実態や特徴及び具体的な支援方法について研修を行った。 研修後の感想には、「自分が担当している児童生徒を思い浮かべながら話を聞き、納得した」「早速明日からの支援に取り入れたい」という前向きな意見が記載され資質及び指導力の向上につながったととらえる。また、信頼に基づいた支援のため、コンプライアンス研修も同時に実施した。 教育補助員配置要綱の一部を改正した。校長が教育補助員の担当児童生徒を決定できるように改正し、これにより児童生徒の実態や学級の状態に応じて教育補助員の配置を学校が主体的に行え、校内で組織的な支援ができるようになった。
3	雨引の里と彫刻展補助事業	生涯学習課	市民の芸術に触れる機会の創出や観光PRに役立ち、地域活性化の一助となることから、本事業は継続すべきと考える。 今後、担当者には、実行委員会や開催地区区長との連絡調整・連携のため、支援やアドバイス、指導が求められるので適切に対応されたい。また、市内外への周知において、様々な情報発信ツールを利用してのPR活動を実施いただきたい。さらに、来場者	実行委員会と常時連絡を取り、開催に向けて支援や指導を行った。開催地区区長や関係機関・部署と実行委員会の間に立ち、連絡調整を行った。また、今までの開催経緯を踏まえた詳細な引き継ぎ書を作成した。 PR活動として、新聞・ラジオ放送・地域情報誌・インターネットの情報サイトに取り上げられたほかに、SNSや生涯学習課Youtubeチャンネル「ゆずチャン！」で彫刻展の紹介を実施した。なお、スタンプラリー等を含め

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (令和5年3月末の経過報告)
			数の増加に向け、スタンプラリーの実施など新たな取り組みも検討されたい。	イベントを検討した結果、商工観光課の協力のもと、「サイクルイベント」や「駅からハイキング」のルートに作品鑑賞を組み入れたイベントを実施した。
4	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ振興課	<p>少子高齢化が進み、スポーツ人口が減少している。「スポーツを通じて健康で明るい生活を送れていると感じる人」の割合を増やすため、委員を中核として、運動をするきっかけづくりの啓発や普及活動を常に実施していく必要があり、本事業は継続すべきと考える。</p> <p>今後、市民の健康づくりのために、委員は、市のスポーツに関する行事や事業への協力はもちろんのこと、スポーツ団体や関係部局と連携して各地区のスポーツ活動推進のための支援や広報活動の推進に尽力されたい。また、委員の資質向上に向けた研修や人材の発掘に努めることも検討されたい。</p>	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でマラソン大会は開催できなかった。徐々にスポーツのイベントは開催する傾向になり、市主催の健康タウンラジオ体操講習会、県西地区スポーツ推進委員研究会などに参加した。</p> <p>委員の資質向上について、スポーツ団体や関係機関と連携しマラソン大会や研修会等に参加していく。</p>
5	出土遺物保存処理委託事業	文化財課	<p>現在、保存処理が必要な文化財が多数あり、それらを保護し、歴史・教育等資料として活用するとともに後年へ伝えるために、継続すべき事業である。</p> <p>保存処理が遅れると劣化が進み、文化財の価値が低下してしまうことに加え、処理費用も嵩むことになる。そこで、保存処理に優先順位をつけるなど、計画的に文化財の保存にあたられたい。</p>	<p>現時点で桜川市が保管している発掘出土品のうち、早期の保存処理が望まれるものを、遺跡単位で改めて精査し、優先順位を付して計画を立てることとした。</p> <p>今後、各遺跡内の個別の出土品についても精査し、鉄製品など遺跡順を超えて特に優先的に保存処理を行うべき出土品についても計画表を作成する。</p>